

取扱説明書

アクトモア ライトフット 自走式／介助式

このたびは、本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項
や使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- 本製品は、改良などにより「取扱説明書」の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がありましたら、当社までお問い合わせください。

株式会社フロンティア

1 ご使用上の注意

⚠ 危険

【死亡または重傷を招くもの】

- 急な坂を下る場合は、後ろ向きで下がってください。
前向きで下ると利用者が転落する可能性があります。
- 溝や踏切の線路などでの落輪、車輪の挟み込みには十分注意してください。
斜めの角度で進入するとレールの溝にはまって危険です。必ず介助者と一緒にならってください。
- 車道を通らないでください。
車いすは歩行者として扱われます。車道を通らず、必ず歩道または道路の右側を走行してください。
- スピードを出さないでください。
スピードが出ているときの急カーブ、急ブレーキは転倒するおそれがあり危険です。
- 車いすに利用者が座ったまま車両で移動はしないでください。
利用者は必ず車の座席にお座りください。



⚠ 警告

【死亡または重傷を招く可能性のあるもの】

- 取り扱いが理解できないと思われる方が使用する場合は、十分に注意してください。
取扱説明書に書かれた内容を理解できないと思われる方（幼児や認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介護者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤動作、その他誤った使用方法による事故を未然に防いでください。
- 車いすから乗り降りするときや一時停止するときは、必ず左右両輪の駐車ブレーキを掛けてください。
車いすが動いて事故につながる可能性があります。
- 坂道など傾斜がある場所で車いすを駐車しないでください。
駐車ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながるおそれがあります。
車いすは水平で平坦な場所に駐車してください。

警告

【死亡または重傷を招く可能性のあるもの】

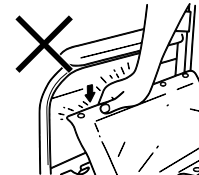
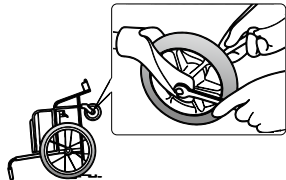
- フットサポート（足置き）に立ったり、直接体重を掛けないでください。
フットサポートが破損したり、バランスを崩して転倒するおそれがあります。
- 車いすを物品運搬や歩行の補助用具としてなど車いす以外の目的で使用しないでください。
- 製品の使用者最大体重を守ってください。
- 車いすに2人以上乗らないでください。
- 介助者は絶対に車いすに乗って介助しないでください。
- 後方へ転倒するおそれのある場合は絶対に使用しないでください。
- シート（座面）以外の部分に腰掛けないでください。
- 大きな段差を無理に乗り越えようとしないでください。
大きな段差があるときは、スロープや段差解消機などを使用してください。
- 段差を勢いをつけて乗り越えないでください。
フレームやキャストなどが破損して事故の原因となるおそれがあり危険です。
- エスカレーターで使用しないでください。
- キャスタの車輪が斜めになった状態で発進や段差を乗り越えないでください。
斜めに進入したり、キャストの車輪が斜めになった状態で発進すると段差を越えられなくなったり、キャストが破損して事故の原因となるおそれがあり危険です。
- 回転している後輪やキャストに指を挟み込まれないように注意してください。
- 介助者の方は、利用者が車いすに安全に座れていることを確認してから操作してください。
体の一部または衣服が後輪やキャストおよび地面、建物、通行者に触れたり挟まったりするおそれがあり危険です。



注意

【軽度または中程度の障害を招く可能性があるもの】

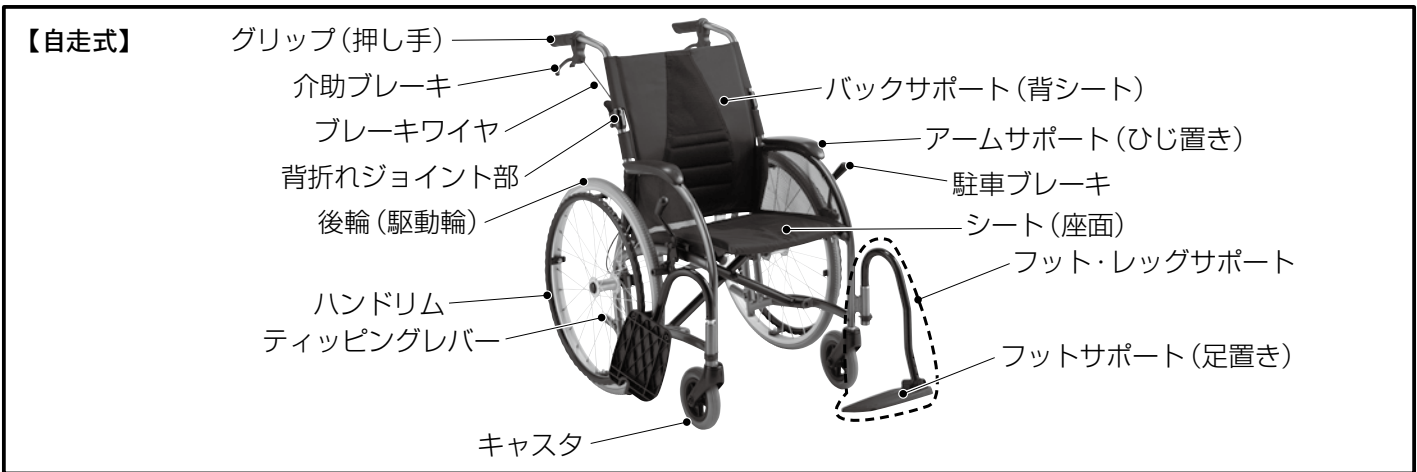
- 乗る前に後輪・キャスト・ブレーキなどのネジを点検してください。
ゆるんでいるときは、増し締めをしてください。
- 車いすを開くときにシートパイプを握って押し下げないでください。
手を挟み危険です。
- 走行中、利用者の足がフットサポート（足置き）から落ちないようにしてください。
- 走行中、利用者の体が車いすから乗り出さないようにしてください。
- 利用者が車いすに完全に座れているか確認してから走行してください。
- 駐車ブレーキは必ず手で操作してください。
- 車輪を握って車いすの操作をしないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 直射日光や高温の場所に保管しないでください。
- 火気に近づけないでください。



2 製品の特長

- 背中カーブの形に自然に添うように設計され、そのまま座っても座り心地のよい構造の車いすです。
- フット・レッグサポートの取り外し、またはスイングアウトができるため、立ち座りするときに足回りが広く使えます。
- 自走式で約12kg、介助式で約11kgの軽量の車いすです。

3 各部の名称



4 適合調整

バックサポート(背シート)の張り調整のしかた

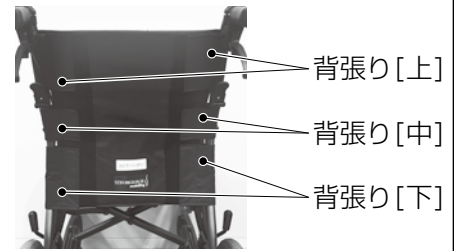
バックサポートの面ファスナーの背張り位置(上・中・下)を変えて背張り調整ができます。

<例1>背筋を伸ばして座りたい

- ① おしりを奥まで入れるため、背張り[下]をゆるめます。
- ② 骨盤を起こすため、背張り[中]を閉めます。
- ③ 胸の前後位置を背張り[上]で微調整をしてください。

<例2>背中が窮屈に感じる場合

- ① 骨盤に沿うように背張り[中]をゆるめます。
- ② おしりの形状に沿って背張り[下]をゆるめます。
- ③ 胸の前後位置を背張り[上]で微調整してください。

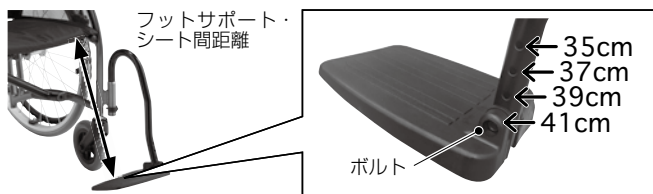


※背張り[上]の上部はビスで固定されているため、調整範囲が限られています。ビスを取り外して使用しないでください。背張り調整後は、面ファスナーがしっかり固定されていることを確認してください。

フットサポート・シート間距離の調整のしかた

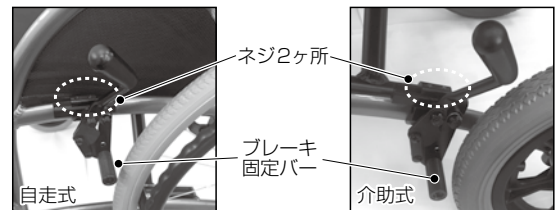
フットサポート・シート間距離の長さは、4段階に調整できます。

- ① フットサポート(足置き)を固定しているボルトをゆるめて取り外します。
- ② フットサポート・シート間距離の長さを決めて、外したビスを差し込みしっかり締め付けます。



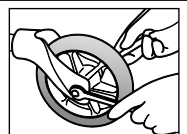
駐車ブレーキの調整のしかた

- ① 駐車ブレーキが掛かっていない状態でネジ2ヶ所をゆるめます。
- ② レールに沿って前後にスライドさせて調整し位置が決まったらネジを締めて固定します。
- ③ 調整後は必ず後輪が動かないことを確認してください。



5 ご使用前の準備と点検

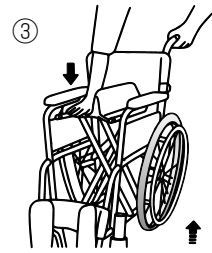
- ご使用前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態で使用してください。
- 介助ブレーキや駐車ブレーキの効き具合が悪いときは当社までご連絡ください。
- ガタつきがなく、まっすぐに走ることを確認してください。
- フット・レッグサポートや背折れジョイント部がしっかりと固定されていることを確認してください。
- ブレーキワイヤが引っかかっていないことを確認してください。
- 後輪・キャスタ・ブレーキなどのネジのゆるみを点検し、ゆるんでいるときは、増し締めをしてください。
- 保管するときは、直射日光や高温の場所を避け、立てた状態で雨がかからない安全な場所に置いてください。



6 ご使用方法

1. 開きかた

- ① 折りたたんでいるグリップ(押し手)を左右とも持ち上げます。
- ② グリップ(押し手)を持って軽く左右に開きます。
- ③ 片側の後輪を少し浮かせて、浮かせていない側のシートパイプの上を手のひらで押し開きます。

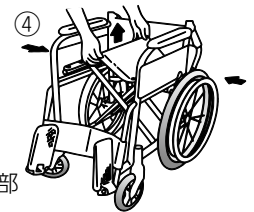


△ 注意

- 背折れジョイント部に手や指を近づけないでください。
- 車いすを開くときにシートパイプを握って押し下げないでください。

2. たたみかた

- ① 駐車ブレーキを左右の後輪に掛けます。
- ② 背折れジョイント部を握りながら左右の背パイプを押し下げます。
- ③ フットサポート(足置き)を左右ともに跳ね上げます。
- ④ シート(座面)の中心を両手で持ち上げ(右図参照)ゆっくりと左右を寄せます。
- ⑤ 両側からアームサポート(肘置き)を押さえてたたみます。



3. パーキングの方法

駐車ブレーキを使う場合

駐車ブレーキのレバーを下に押しとロックが掛かり、後輪側に引くとロックが解除します。

△ 注意

- 駐車ブレーキを掛けないまま車いすに乗り降りしたり一時停止をしないでください。
- 傾斜地や平坦ではないところでは駐車しないでください。
- 駐車ブレーキレバーを作動方向以外に力を加えないでください。

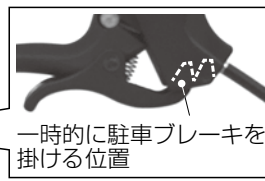


介助ブレーキを使う場合(※一時的な方法)

介助ブレーキのロック機能で一時的に車いすをパーキングすることができます。

※一時的な方法なので、必ず駐車ブレーキでロックを掛けてください

- ① 介助ブレーキを強く握ります。
- ② 介助ブレーキを握ったまま、ロックレバーを引っ掛けるように固定します。
ロックレバーは[駐車ブレーキのロック機能]と[坂道に使用する抑速機能]があります。
※[坂道に使用する抑速機能]はP5「6. 外出時の注意点 坂道の場合」を参照ください



※ロック解除は、介助ブレーキを強く握るとロックレバーが戻り解除されます

4. フット・レッグサポートの使いかた

立位移乗を行うときなど、フット・レッグサポートをスイングアウトまたは取り外して足元のスペースを広くできます。

スイングアウトをするとき

- ① フット・レッグサポートを垂直に少し持ち上げてロックを解除します。
- ② フット・レッグサポートを外側に回転させると固定されます。
・自走式：90度
・介助式：180度

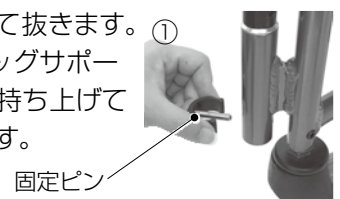


【介助式】
180度固定



取り外すとき

- ① フット・レッグサポートの固定ピンを手前に引いて抜きます。
- ② フット・レッグサポートを垂直に持ち上げて取り外します。



5. 移乗のしかた

本製品の移乗動作は、立つことができ方向転換ができる方が対象です。
使用者の身体状況によって、移乗方法は異なります。専門家などの指導に基づいてご使用ください。
下記の方法を参考に正しい移乗方法で行ってください。

ベッドから車いすへ移乗する場合

※車いすからベッドへ移乗するときは逆の要領で行ってください

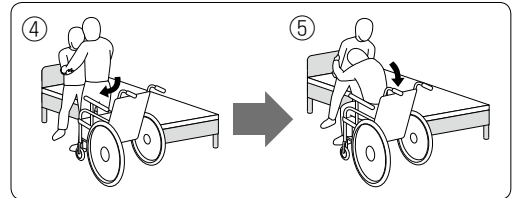
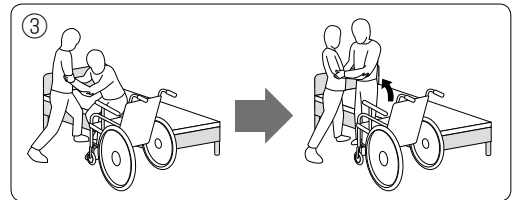
- ① 両側のフットサポートを上げて、乗り移る側のフット・レッグサポートを取り外すかスイングアウトします。
※自走式のスイングアウトは90度で固定します。ベッドなどに干渉するため取り外すことをおすすめします
- ② 車いすをベッドに近づけて両輪に駐車ブレーキを掛けます。

＜1人で車いすに乗り移るとき＞

- ③ ベッドの介助バーや手すりなどがあればしっかり握り、腰を浮かせ移乗先の車いすにおしりを向けます。
- ④ 車いすのアームサポートを握り、ゆっくり腰を下ろし奥まで座ります。
- ⑤ フット・レッグサポートを元に戻し、固定していることを確認してください。
- ⑥ フットサポートを下ろして両足をのせます。

＜介助者と車いすに乗り移るとき＞

- ③ 介助者が相手の身体状況に合わせて、体を支えながら立ち上がらせます。
- ④ 移乗先の車いすにおしりを向けます。
- ⑤ 介助者が体を支えながら、車いすの奥まで座れるように、ゆっくり腰を下ろしてもらいます。
- ⑥ フット・レッグサポートを元に戻し、固定していることを確認してください。
- ⑦ フットサポートを下ろして両足をのせます。



▲ 警告

- 車いすが動き出し大変危険ですので、必ず駐車ブレーキをかけてください。
- 危険ですのでフットサポート(足置き)の上に乗らないでください。

▲ 注意

フット・レッグサポートを戻すときは、衣服や手を挟み込まないように注意してください。

6. 外出時の注意点

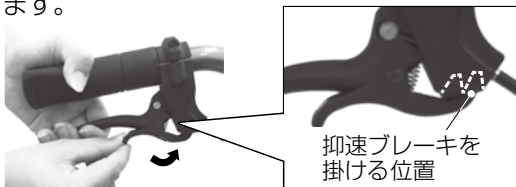
車いすの安全な使いかたは、“ゆっくり”“確実に”が基本です。

坂道の場合

上り坂：介助する方は、体を少し前に倒して押し戻されないように一歩ずつしっかりと押します。



下り坂：介助ブレーキを軽く使いながら後ろ向きに一歩ずつ下がります。このとき、介助ブレーキのロックレバーを使うと速度の抑制ができます。



段差のある場所

上がる時：段差の前で一旦停止しティッピングレバーを踏んでキャストを上げて進み、後輪を押し上げます。

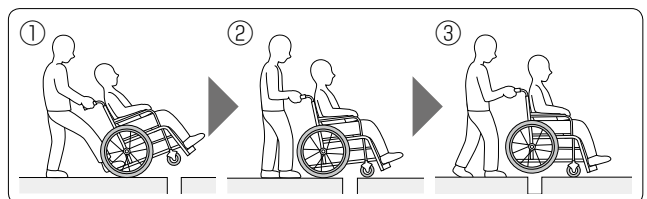


▲ 注意 段差を勢いをつけて乗り越えないでください。

下がる時：後ろ向きで進み後輪を下ろし、キャストを上げたままゆっくりと下ろします。

溝を越える場合 ※あらかじめ溝の大きさを確認し安全にわたれる場合のみ実施してください

- ① ティッピングレバーを踏んでグリップを押し下げ、キャストを持ち上げます。※必ず声を掛けてから行います
- ② キャスタを上げたまま前に進み、溝を越えた向こう側にキャストをゆっくり下ろします。
- ③ 後輪を持ち上げて前に進み、溝を完全に越えたところでゆっくりと後輪を下ろします。



▲ 注意

キャストの車輪が斜めになった状態で発進や段差を乗り越えないでください。
キャストの車輪がまっすぐになっていることを確認してから走行してください。

7 お手入れの方法

- フレームは、定期的に湿った布でふいて汚れを取り除いてください。
- シート(座面)が汚れた場合は、水を含ませた布を固く絞りふき取ってください。
- ブレーキの洗浄は、イソプロピルアルコールや石鹼水を使用してふくか、乾いた布などでふいてください。

8 仕様

商品名	アクトモア ライトフット	
	自走式	介助式
本体寸法(全長×全幅×全高)	98×63×87.5cm	
折りたたみ寸法(全長×全幅×全高)	98×34.5×72cm	75.5×34.5×72cm
座幅/座奥行き	40cm/40cm	
前座高/後座高	44cm/39cm	
重量	約12kg	約11kg
後輪径	22インチ(ノンパンクタイヤ)	12インチ(ノンパンクタイヤ)
キャスト径	6インチ(ソリットタイヤ)	
使用者最大体重	135kg	
材質	シート(座面)	ポリエステル生地、ポリウレタン
	フレーム	アルミニウム

■製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

株式会社フロンティア

フクシのこトハ

フリー
コール **0120-294-518**

千葉本社 福祉本部 〒261-0002
千葉県千葉市美浜区新港 42-4
TEL.043-301-8338



●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店